

「平成 28 年度 介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修（第 1 号研修及び第 2 号研修）」

実施募集要項

医療法人社団豊生会では、平成 24 年 4 月 1 日に施行された改正「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づき、在宅や高齢者施設等において喀痰吸引等を必要とする利用者に対して、医師・看護師と連携し、適切にたん吸引等を行うことができる介護職員等を育成するための研修を下記により開催いたします。

1. 研修実施機関

実施機関名：「豊生会たんの吸引等研修所」（登録研修機関 No.0120020）

所在地：〒062-0804 札幌市東区東苗穂 3 条 1 丁目 2 番地 18

連絡先：豊生会本部介護教育室

研修担当 堀 良子

TEL.011-781-8800 FAX.011-781.8822

E-mail ryoko_hori@houseikai.or.jp

2. 研修実施について

1) 研修事業の名称

介護職員等によるたん吸引等実施のための研修
第 1・2 号研修（不特定多数の者対象）

2) 実施期間

基本研修（講義）：9 月 5 日～9 月 14 日

（演習）：A・B グループ：9 月 16 日・9 月 20 日

C・D グループ：9 月 26 日・9 月 27 日

※ 詳しくはこちらの『研修カリキュラム』をご確認ください

3) 実施場所

① 講義：医療法人社団 豊生会 介護老人保健施設ひまわり 会議室
住所：札幌市東区東苗穂 3 条 1 丁目 2 番地 18

② 演習：医療法人社団 豊生会 介護老人保健施設ひまわり 会議室
住所：札幌市東区東苗穂 3 条 1 丁目 2 番地 18

③ 実地研修：実地研修実施機関承諾書提出施設

4) 受講資格

下記の全てに該当する方。

① 札幌市内及び札幌近郊に所在する事業所や施設に所属し、たんの吸引等を行う予定の介護職員。

② すべてのカリキュラムを受講できる方。

- ③ 受講生の所属する施設等にて実地研修を行うことができる方。
 - ④ 1年以上の介護業務の実務経験のある方
 - ⑤ ①～④すべてに該当し、事業所長が当該研修の受講者として推薦する方。
- 5) 受講定員
20名（応募多数の場合選考有り）

3. 受講申し込みについて

1) 受講料

① 基本研修

： 80,000円（消費税込み）※下記テキスト代等が別途必要となります。

➤ 喀痰吸引等の研修に関するテキスト

「改訂 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養研修テキスト」

発行：中央法規出版(販売価格：2160円税込み)

➤ 救急蘇生法に関するテキスト

「救命講習テキスト ガイドライン 2010 対応」

発行：札幌市防災協会(販売価格 2160円税込み)

② 実地研修

： 40,000円（消費税込み）

※ 豊生会施設での実地研修受講者のみ

2) 支払い方法

指定口座へ振り込み

3) 解約・返金

研修開始前日までの受講中止の申し出者に対し、研修受講料を返金する

4) 受講申し込みの手続き

募集期間迄に、下記の書類を添えて申し込み先まで郵送にて申し込む

(1)様式①「受講申込書」

(2)様式②「受講者調書」

※豊生会施設以外で実地研修を行う方は、
様式②～④も併せて提出願います。

(3)様式③「実地研修先確認書」

(4)様式④「実地研修実施機関承諾書」

5) 申し込み先

〒062-0802 札幌市東区東苗穂 3 条 1 丁目 2 番地 18 TEL.011-781-8800

豊生会本部 介護教育室「豊生会たんの吸引等研修所」

6) 募集案内及び期間

募集媒体：

① 「介護老人保健施設ひまわり」及び「特別養護老人ホームひかりの」の
ホームページ

② 法人広報誌「にじいろネットワーク」

募集期間：

平成 28 年 7 月 29 日（金曜日）～8 月 22 日（月曜日）※当日必着

4. 研修カリキュラムについて

1) 研修課程

<第 1 号研修> 喀痰吸引及び経管栄養のすべて（不特定多数の者対象）

<第 2 号研修> 第 1 号研修の行為の内、任意の行為のみ（不特定多数の者対象）

2) カリキュラム表

種別	科目名	実施時間
基本研修 (講義)	1. 人間と社会	1.5 時間
	2. 保健医療制度とチーム医療	2.0 時間
	3. 安全な療養生活	4.0 時間
	4. 清潔保持と感染予防	2.5 時間
	5. 健康状態の把握	3.0 時間
	6. 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論	11.0 時間
	7. 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説	8.0 時間
	8. 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論	10.0 時間
	9. 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説	8.0 時間
基本研修 (演習)	口腔内の喀痰吸引	5 回以上
	鼻腔内の喀痰吸引	5 回以上
	気管カニューレ内部の喀痰吸引	5 回以上
	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	5 回以上
	経鼻経管栄養	5 回以上
	救急蘇生法	1 回以上
筆記試験	全課程終了後に実施	

基本研修全課程終了後、実地研修実施機関にて下記の実地研修を所定回数行います。

種別	科目名	所定回数	備考
実地研修	口腔内の喀痰吸引	10 回以上	第 1・2 号研修
	鼻腔内の喀痰吸引	20 回以上	第 1・2 号研修
	気管カニューレ内の喀痰吸引	20 回以上	第 1 号研修
	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養	20 回以上	第 1・2 号研修
	経鼻経管栄養	20 回以上	第 1 号研修

実地研修期間は、基本研修全課程終了日から、平成 29 年 2 月末日までとします。

5. 受講にあたっての注意事項等

1) 遅刻・早退・欠席の取り扱いについて

① 遅刻：原則認めません。

但し、やむを得ない事情（要証明書等）がある場合、20分まで認めます。

② 早退：原則認めません。

但し、やむを得ないと判断できる時、20分前まで認める。

③ 欠席：やむを得ないと判断できる場合、講義科目で2日を限度として認めます。

2) 受講者選考について

受け付けは先着順ではありません。研修受講が適正と認められた方を受講可とします。申し込みが定員を超える場合、研修受講の優位性について、豊生会喀痰吸引等研修実施委員会に於いて協議のうえ、受講を決定させていただきますので、予めご了承ください。

3) 補講・補習について

補講・補習は下記要領にて、実施いたします。

① 補講・補修方法：

講義：遅刻・欠席及び欠席した当該科目を次回研修開催時に補講する。

補習：当該研修開催期間中に1日間補講する。

② 補講・補習費用と徴収方法：

補講：無料

補習：1時間につき、5,400円（補習当日、直接払い）

4) 受講の取り消しについて

次に該当する者は、受講を取り消す場合があります。

- ・受講料を指定日までに納入しないとき
- ・受講開始後の講義(50時間)出席率が80%に満たないとき
- ・他の受講者に対し、著しく不利益を与えたとき

5) 研修修了後の手続きについて

全課程修了者に対し、豊生会が発行する「修了証」を各自にて北海道に申請することにより、「認定特定行為業務従事者認定証」の交付が受けられます。

6) 評価方法について

社会福祉士及び介護福祉士法施行規則別表第1及び第2号研修の修得程度の審査方法について定められ方法（別添）により行います。

7) 修了認定の方法について

全講義受講後、筆記試験により知識の定着が確認されたこと及び、評価による技術習得（基本研修：演習評及び実地研修評価。）の確認ができた者を修了認定します。

<筆記試験>

形式：四肢択一式 設問数 40 問（80 分間：60 分経過以降は退出を許可）

評価基準	90%以上：合格
------	----------

(筆記試験)	89～70%：再試験（有料） 69%以下：不合格（再受講）
--------	----------------------------------

※再試験は2回まで実施予定ですが、有料（3240円/1回）となります。

本試験に対し、欠席及び遅刻は原則認めません。但し、やむ得ない理由と判断された場合には、再試験の受講資格を有するものとします。

6. 安全な研修実施に関する事項

- 1) 安全管理体制：実地研修における事故対応は、実習施設である東苗穂病院の「医療安全管理委員会」規定に則り、医師・看護師等の協力の下で対応します。
- 2) 豊生会施設で行う実地研修に掛かる保険加入については、実地研修中に発生した偶発的な事故に起因した損害に備え、施設・事業所及び受講者を対象に損害賠償保険に加入いたします。尚、保険料については、豊生会が負担いたします。

7. 個人情報の取扱いについて

申込書等に記載の個人情報については適正な管理を行い、本研修の運営及び実地研修における記載事項の紹介を北海道にする場合を除き、関係業務以外の目的に利用することは一切行いません。

8. 研修期間中のお願い

- 1) 研修会場及び交通機関
 - ① 基本研修の会場は、介護老人保健施設ひまわり内の会議室であることから、休憩時間等において施設利用者への配慮をお願いする。
 - ② 会場への来場は、公共交通機関の利用を原則とする。
 - ③ 交通経路：
 - (1)地下鉄南北線麻生行「北24条駅」下車4番出口→中央バス東70番東営業所行き「伏古7条5丁目」下車→老健ひまわり(信号を渡りバス通り側より入る)
 - (2)地下鉄東豊線栄町行「元町駅」下車5番出口→中央バス東70番東営業所行き「伏古7条5丁目」下車→老健ひまわり
 - ④ やむを得ない理由により自家用車の利用を希望する場合は、研修申し込み用紙にその旨ご記入ください。自家用車の利用可否及び利用方法については、受講決定通知にてお知らせいたします。
- 2) 電話・面会について

受講中は携帯電話の電源を切るかマナーモードにさせていただきます。

受講者への面会や電話の取次ぎは、原則行ないません。

3) その他

- ① 昼食は各自にてご準備願います。
研修会場は飲食可能ですが、ゴミは各自お持ち帰りください。
- ② ご本人確認を行う場合がありますので、初日は運転免許証など本人確認できるものをご持参ください。
- ③ 研修期間中は、一切の録音・写真撮影は禁止いたします。
- ④ 手荷物、貴重品の管理は、各自行ってください。

9. 当該研修に係る苦情窓口

医療法人社団 豊生会本部 介護教育室

電話：011-781-8800

担当：近江谷

平成28年度 基本研修カリキュラム日程表

【 基本 研 修 】

(講 義)

会場:介護老人保健施設 ひまわり 会議室 及び 東苗穂病院 会議室

月 日	時 間	科 目	時間数 (h)	
		大 項 目 中 項 目		
第1日目 9月5日 (月)	9:00	◇ 受付	名札配布・テキスト販売	
	9:30	◇ オリエンテーション	受講に当たっての留意事項(資料配布)	
	10:30	《第I部 総論》 第1章 人間と社会 1.介護職員と医療的ケア 0.5 2.介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係わる制度 1.0.		
	昼食60分			
	13:00	第2章 保健医療制度とチーム医療 1.保健医療に関する制度 1.0. 2.医療的行為に関係する法律 0.5 3.チーム医療と介護職員との連携 0.5		
			第3章 安全な療養生活	
	17:10	1.喀痰吸引や経管栄養の安全な実施 2.0.		
第2日目 9月6日 (火)	9:00	2.救急蘇生法(講義) 2.0.		
			第4章 清潔保持と感染予防	
	12:00	1.感染予防 0.5 2.職員の感染予防 0.5		
	昼食60分			
	13:00	2.救急蘇生法(演習)3時間要する 1回以上 3.療養環境の清潔、消毒法 0.5 4.滅菌と消毒 1.0.		
第3日目 9月7日 (水)	9:00	第5章 健康状態の把握 1.身体・精神の健康 1.0. 2.健康状態と知る項目(バイタルサインなど) 1.5 3.急変状態について 0.5.		
	昼食60分			
	13:00	《第II部 喀痰吸引》 第1章 高齢者及び障害者・児の喀痰吸引概論 1.呼吸のしきみとはたらき 1.5 2.いつもと違う呼吸状態 1.0. 3.喀痰吸引とは 1.0. 6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応説明と同意 0.5		
	16:40			
	9:00	4.人工呼吸器と吸引 2.0. 5.子どもの吸引について 1.0.		
第4日目 9月8日 (木)	12:10	昼食60分		
	13:10	7.呼吸器系の感染と予防(吸引と関連して) 1.0. 8.喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認 1.0.		
	17:20	9.急変・事故発生時の対応と事前対策 2.0.		

第5日目	9月9日 (金)	9:00	第2章 高齢者及び障害者・児の喀痰吸引実施手順解説 1. 喀痰吸引で用いる用具・器材とそのしくみ、清潔の保持 3. 喀痰吸引に伴うケア 4. 報告および記録	1.0. 1.0. 1.0.
		12:10	昼食50分	
		13:00	2. 吸引の技術と留意点①	3.0.
		17:40	《第Ⅲ部 経管栄養》 第1章 高齢者及び障害者・児の経管栄養概論 1. 消化器系器官のしくみとはたらき	1.5
第6日目	9月12日 (月)	9:00	2. 消化・吸収とよくある消化器の症状 3. 経管栄養とは	1.0. 1.0.
		12:10	4. 注入する内容に関する知識	1.0.
		13:00	5. 経管栄養実施上の留意点 6. 子どもの経管栄養について 7. 経管栄養に関する感染と予防 8. 経管栄養を受ける利用や家族の気持ちと対応、説明と同意	1.0. 1.0. 1.0. 0.5
		17:40	9. 経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	1.0.
第7日目	9月13日 (火)	9:00	10. 急変・事故発生時の対応と事前対策 第2章 高齢者及び障害者・児の経管栄養実施手順解説	1.0.
		12:10	1. 経管栄養で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔と保持 2. 経管栄養の技術と留意点①	1.0. 1.0.
		13:10	2. 経管栄養の技術と留意点① 3. 経管栄養に必要なケア	2.0. 1.0.
		17:20	4. 報告および記録	1.0.
第8日目	9月14日 (水)	9:00	オリエンテーション 筆記試験及び演習実施について	
		10:00	《第Ⅱ部》第2章 喀痰吸引実施手順解説 2. 吸引の技術と留意点②	2.0.
		12:00	デモンストレーション演習実施(口腔内の喀痰吸引)	
		昼食60分		
		13:00	《第Ⅲ部》第2章 経管栄養実施手順解説 2. 経管栄養の技術と留意点②	2.0.
15:00	デモンストレーション演習実施(胃瘻による経管栄養)			
15:30	筆記試験	1.5		
16:50	60分経過後退室可			

※ 追試験(有料)は、1回目9月21日(水曜日)・2回目9月23日(金曜日)いずれも9時開始予定です。

【 基 本 研 修 】

(演 習)

	月日	時間	グループ	実地ケアの種類	実施回数
第1日目	9月16日 (金)	8:30 17:00	・Aグループ(たん吸引) ・Bグループ(経管栄養)	たん吸引(口腔内) たん吸引(鼻腔内)	5回以上 5回以上
	9月26日 (月)		・Cグループ(たん吸引) ・Dグループ(経管栄養)	たん吸引(気管カニューレ内部)	5回以上
第2日目	9月20日 (火)	9:00 17:00	・Aグループ(経管栄養) ・Bグループ(たん吸引)	経管栄養(胃ろう又は腸ろう)	5回以上
	9月27日 (火)		・Cグループ(経管栄養) ・Dグループ(たん吸引)	経管栄養(経鼻経管)	5回以上

※ 受講者を4つのグループ(A・B・C・D)に分けて実施となりますので、受講決定通知時に、グループ名をお知らせします。

※ 演習時間は、人数等により終了時間が変わる場合があります。

【 実 地 研 修 】

基本研修全課程終了後、実地研修実施機関にて下記の実地研修を所定回数行います。

実地研修期間は、基本研修全課程終了日から概5ヵ月間を予定しています。

科 目		所定回数	備 考
喀痰吸引	口腔内吸引	10回以上	・第1号研修対象は全5行為実施
	鼻腔内吸引	20回以上	
	気管カニューレ内部吸引	20回以上	
経管栄養	胃ろう又は腸ろう	20回以上	・第2号研修対象は任意の行為について実施
	経鼻経管	20回以上	